

温室効果3題

東京工業大学名誉教授 安部明廣

今、われわれが対応を迫られている温暖化を詩にしてみました。ゆっくりと考えながらお読みいただければ幸いです。

温暖化 なければ地表は 氷点下
衣纏わぬ 裸の天球

温暖化 上手に使いば 18度
衣が制御 光の出入り

温暖化 過度は禁物 異常な気象
出入りの制御 バランス欠いて

地球という天体に気体の衣がなかったら、地表の温度は零下18度と推定されています。

気体の衣（大気）には保温化効果があり、地表を温暖にしてくれます。温暖な気候が保たれるようにバランスが取れている時は平均18度ぐらいです。

大気は、窒素（ N_2 ）、酸素（ O_2 ）、水蒸気（ H_2O ）、炭酸ガス（ CO_2 ）などで構成されています。炭酸ガスや水蒸気は、地表の熱を光として宇宙に放散する効果を抑えることで特に大きく温暖化に寄与しますので、オゾン、メタンなどとともに温室効果ガスと呼ばれています。

炭酸ガスなどの濃度が増え、大気のバランスが崩れ、温室効果が行き過ぎると地表の温度は上昇して、海の温度も高まります。水が蒸発してできる大気中の水蒸気が増える結果、雨が降るときは集中豪雨型になり易くなります。気温が大きく上下に振れ、風の強い日が増えることも予想されます、これが今、人類が直面している温暖化問題の一つです。